

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮別所小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>国語科の「読むこと」、算数科の「データの活用」の正答率が低い傾向が見られた。 <指導上の課題>学習習慣の定着に差が見られ、その結果知識・技能の定着に差が見られる。	ICTを活用し、児童データを収集・活用し、児童に応じた指導ができるよう指導の見直しを行う。【月1回実施】指導と評価の一体化を図ることにより、個に応じた指導を充実させていく。【市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」において肯定的回答が90%以上】家庭との連携を密にし、学習習慣の定着を図る。【市学習状況調査】の肯定的な回答が90%以上
思考・判断・表現	<学習上の課題>どの学年においても「思考・判断・表現」の正答率が低い傾向が見られた。 <指導上の課題>自己の考えを言葉で表現することに苦手意識をもっている児童が多い。	各教科の授業で、根拠資料を基に、自己の考えをまとめる活動を引き続き行っていく。【市学習状況調査「これまでの授業は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」において肯定的回答が90%以上、学校課題研修アンケート「自身の考えを言葉で表現することができる」において肯定的な回答を80%以上。】根拠と結び付けて自分の考えを表現できるよう重点的に指導を行っていく。【市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」において肯定的回答が90%以上】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現	結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	調査の振り返り(4月)
思考・判断・表現	結果提供(7月)	結果提供(7月)

調査結果分析(7~8月)
 ①結果分析(管理職・学年主任等)
 ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)